

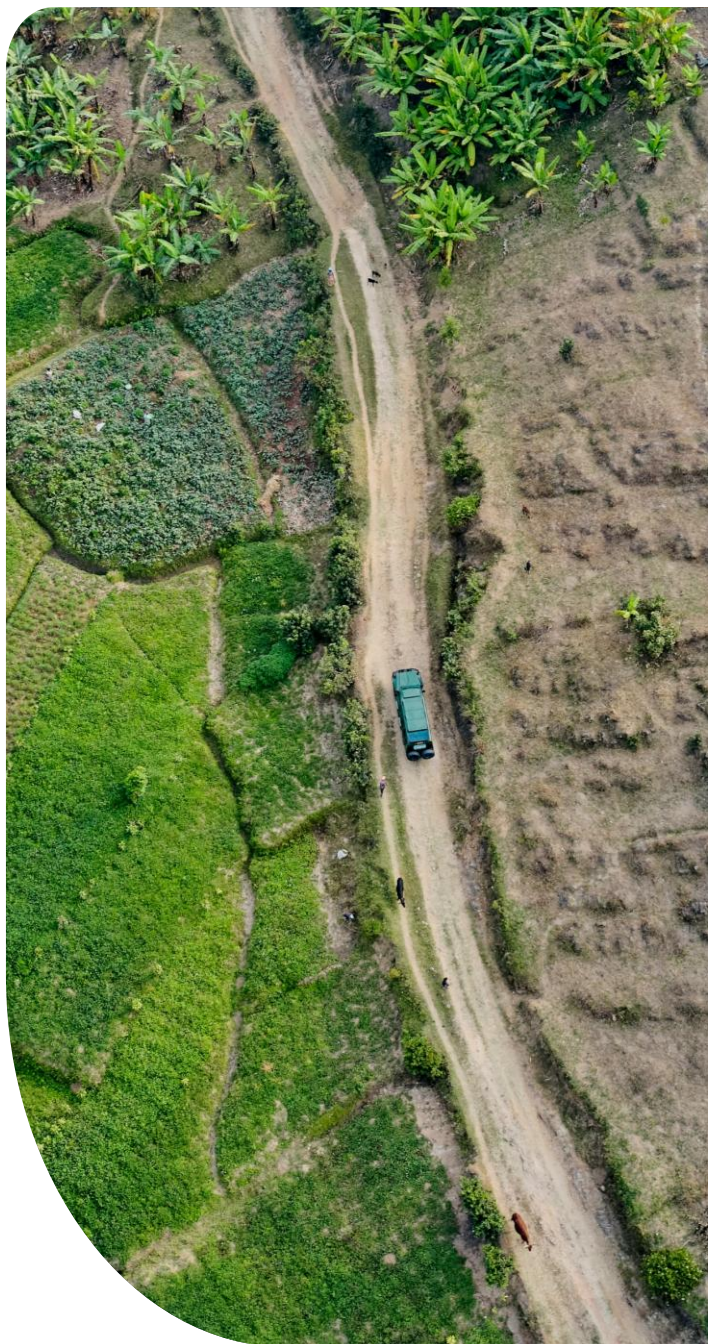
News Insight & Recap

2025年8月



続きを読む

注：以下の内容は、特定の個人または法人の状況に対応することを目的としたものではありません。また、本書類の受領日時時点で情報が正確であること、あるいは今後も引き続き正確であることについて、何ら保証するものではありません。



GRANT THORNTONの洞察

8月においてベトナム経済は、製造業の生産と輸出が引き続き拡大しインフレも概ね抑制される中で、安定した成長を維持しました。この安定は好材料ではあるものの、経済の基盤を見渡すと成長の進展には偏りが見られます。具体的には、公的投資の停滞、中間財の輸入依存、そして金や不動産など資産市場の不確実性といった課題が適切に対処されなければ、回復のスピードや質を損なうリスクとなり得ます。現在の課題は、単に成長を維持することではなく、その成長が均衡かつ持続可能であることをいかに確保するかにあります。

今後を見据えると、2025年のベトナム経済の行方は、景気の循環的な強さを、いかに早期に持続可能な成長の原動力へと転換できるかにかかっています。世界銀行が2025年の成長率予測を6.6%へと上方修正した背景には、国内消費の堅調さと輸出の緩やかな回復への強い期待があります。しかし、この成長軌道を維持するためには、外需や一時的な景気刺激策だけでは不十分です。政府が進める投資法の改正と手続きの簡素化により、投資家のコストと処理時間を約30%削減することを目指している点は、ベトナムが低コストだけでなく、効率性と予見可能性を重視していることを示しています。これらの施策が広範な改革とともに着実に実行されれば、ベトナムは短期的なリスクを管理するだけでなく、バリューチェーンの上流化を進め、地域における競争力のある生産・投資拠点としての地位をさらに強化できる可能性があります。



続きを読む

1. 世界銀行、2025年のベトナムGDP成長率を6.6%に上方修正

世界銀行は、2025年のベトナムのGDP成長率予測を従来の5.8%から6.6%へと引き上げました。これは、国内需要の力強い回復と、輸出の段階的な改善が見込まれることを背景としています。また、同銀行は来年のインフレ率について、おおむね3.5%程度に抑えられると予測しています。財政の引き締めや公的投資の支払い改善が、経済成長にさらなる弾みを与えると見られています。一方で、世界経済の減速や貿易摩擦などの外的要因が、2025年のベトナム経済にとって逆風となる可能性があることにも言及しています。長期的な成長を持続させるためには、特に金融分野や国有企業における構造改革が不可欠であると強調されました。加えて、グリーン成長の推進、人材育成、貿易の多様化も重要な取り組みとして推奨されています。

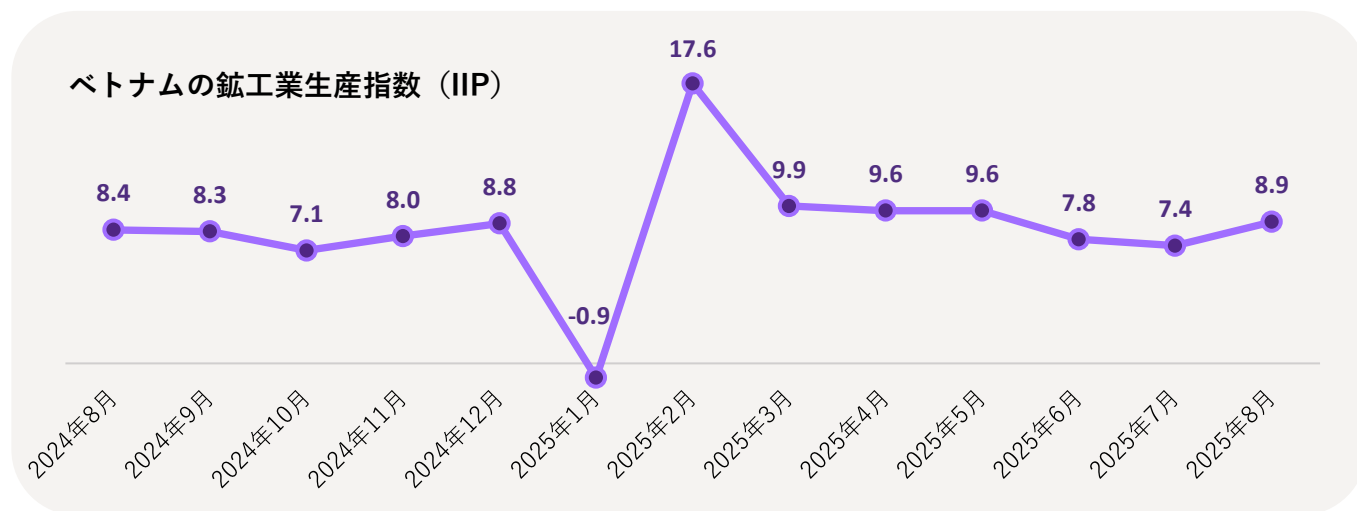
(出典：Vietnam Economic Times)



続きを読む

2. 産業生産は回復傾向も、PMIは依然として不透明感を示す

国家統計局（NSO）によると、2025年8月のベトナム鉱工業生産指数（IIP）は前年同月比で8.9%増加し、過去3か月で最大の伸びを記録しました。電子機器、繊維、機械分野の製造活動が堅調に推移したほか、採掘業の回復も全体の成長を後押ししました。ただし、地域ごとの生産状況にはばらつきがあり、一部の工業拠点では物流の制約や人手不足により成長が鈍化しています。



(出典：The Investor)



続きを読む

2. 産業生産は回復傾向も、PMIは依然として不透明感を示す

IIPの上昇は、最新のS&Pグローバル購買担当者景気指数（PMI）の動向とも一致しています。PMIは8月に50.4となり、7月の52.4から低下したものの、依然としてわずかな改善を示す水準を維持しています。生産は引き続き増加した一方で、新規受注、特に輸出向けの受注は減少し、世界的な需要の弱さが浮き彫りとなりました。雇用は過剰設備の調整の影響を受け、11か月連続で減少。資材不足や関税、輸送費の上昇により、投入コストは今年最速のペースで上昇し、多くの企業が販売価格の引き上げを余儀なくされています。コスト圧力は依然として懸念材料ですが、企業の景況感には6か月ぶりの高水準に改善しており、今後数か月の需要回復に対して慎重ながらも楽観的な見方が広がっています。ただし、アナリストは、回復の勢いを維持するためには、外部市場の改善とサプライチェーンの制約緩和が不可欠であると警鐘を鳴らしています。

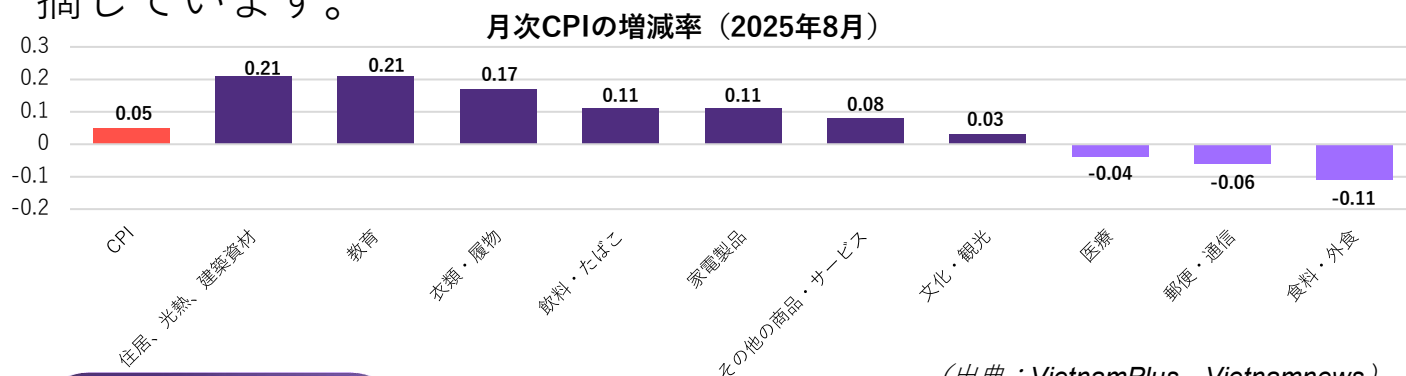
(出典：Vietnam Investment Review、S&P Global)



続きを読む

3. 8月のCPIは小幅な上昇、インフレ圧力はおおむね抑制

2025年8月のベトナムの消費者物価指数（CPI）は、前月比で0.05%、前年同月比で3.24%上昇し、7月からわずかに上昇しました。住宅賃料や外食費の値上がりが主な要因ですが、燃料価格や教育関連費用の一部がCPIの上昇を相殺する形となりました。ベトナム国家銀行（SBV）は、為替の安定を引き続き厳格に管理しており、世界的なドル高の影響を緩和するため、米ドルのフォワード売りを実施したと報じられています。エコノミストは、インフレ圧力は現在のところ抑えられているものの、今後は為替の変動や輸入物価の動向が課題となる可能性があるとは指摘しています。



（出典：VietnamPlus、Vietnamnews）



続きを読む

4. 輸入の伸びが輸出を上回り、貿易黒字が縮小

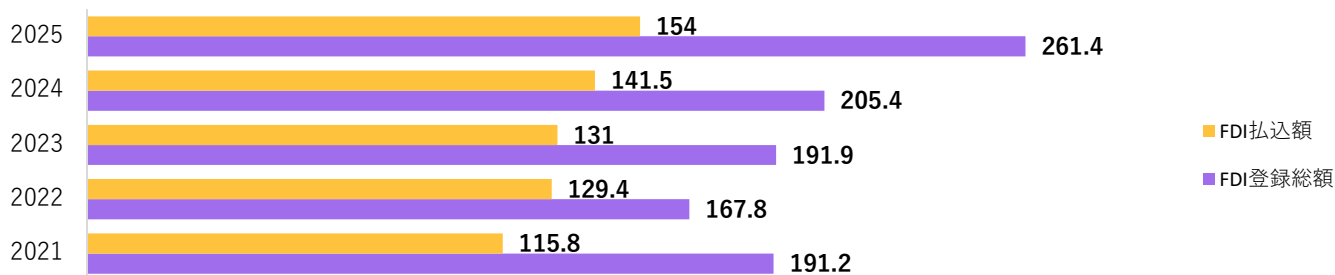
2025年1月から8月までの累計で、ベトナムの総貿易額は5,979.3億米ドルに達しました。うち輸出は3,059.6億米ドル（前年同期比+14.8%）、輸入は2,919.7億米ドル（同+17.9%）となり、輸入の伸びが輸出を上回る結果となりました。これにより、累計の貿易黒字は139.9億米ドルとなりましたが、前年同期の190.7億米ドルと比べて明らかに縮小しています。輸出では製造品が大半を占めており、輸入は依然として原材料や機械類が中心となっています。



5. FDI払込額、8か月累計で過去5年の最高水準に

2025年1月から8月までの期間におけるベトナムへの海外直接投資（FDI）は堅調に推移し、総額は261.4億米ドルに達しました。これは前年同期比で27.3%の増加となります。払込資本金は154億米ドルとなり、前年同期比8.8%増加しました。同期間としては過去5年間で最高水準を記録しました。内訳を見ると、新規プロジェクトの登録額は110.3億米ドルで前年同期比8.1%減少した一方、既存プロジェクトへの追加投資は106.5億米ドルと85.9%の大幅増加しました。さらに、資本出資や株式取得による投資額は44.6億米ドルで、58.8%増加しています。

2021–2025年の8か月間におけるベトナムへのFDI（単位：億米ドル）



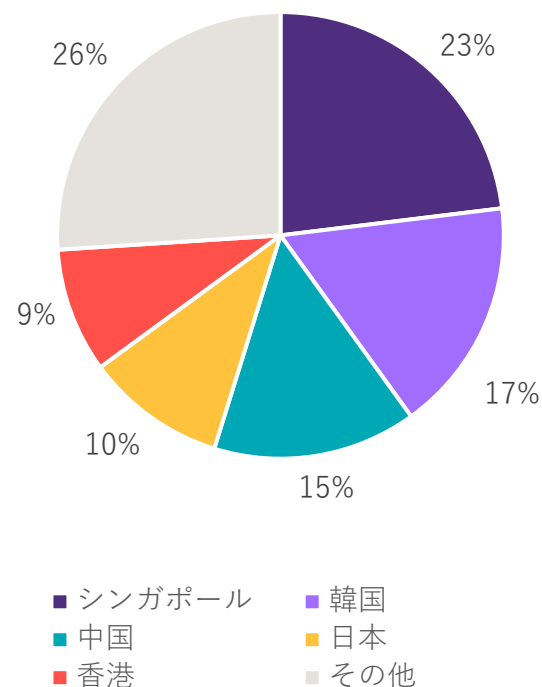
続きを読む

（出典：Vietnam Economic Times）

5. FDI払込額、8か月累計で過去5年の最高水準に（続き）

2025年1月～8月におけるFDI（海外直接投資）の新規登録資本金では、製造業が引き続き主導的な役割を果たし、65.3億米ドルを獲得しました。全体の59.2%を占めました。次いで、不動産分野が23.7億米ドル（21.5%）で2位となり、その他の分野の合計は21.3億米ドル（19.3%）でした。出資元別では、シンガポールが45.2億米ドル（構成比23%）で首位を維持しました。これに韓国、中国、日本、香港が続きました。その他の国々からの出資額は合計で51億米ドルに達しています。

2025年1～8月のベトナムへのFDI登録資本金の出資元（単位：億米ドル）



（出典：Vietnam Economic Times）



続きを読む

6. 観光客数が急増、1～8月の海外からの観光客数は約1,400万人に

ベトナム国家観光局（VNAT）によると、2025年1月～8月の期間にベトナムを訪れた海外からの観光客数は約1,400万人に達し、前年同期比で21.7%増加しました。主な訪問国は中国、韓国、ASEAN諸国で、これらの地域からの旅行者が総観光客数の過半数を占めています。観光業の回復は、サービス業や小売、飲食、宿泊分野に大きな追い風となっており、国内航空の需要も堅調です。航空会社は国際線・国内線ともに旅客数の増加を報告しています。関係当局は、ターゲットを絞ったビザ制度の改革や航空路線の拡充がこの成長を支えていると分析しています。年末の休暇シーズンを控え、業界関係者はさらなる観光需要の伸びを期待していますが、インフラの処理能力やサービスの質が、今後の持続的な成長に向けた重要な課題であると指摘されています。

（出展：Vietnamnews）



続きを読む

7. 公的投資の払込、目標に届かず

ベトナム財務省（MoF）によると、2025年8月末時点での公的投資の払込額は年間計画のわずか39.9%にとどまり、首相が設定した目標の約46%に相当する水準にとどまっています。政府は第3四半期末までに年間計画の少なくとも60%を払込むことを目標としていましたが、現状はその達成に向けた実行面での課題が浮き彫りとなっています。主な障害としては、用地の明け渡しの遅れ、行政手続きの煩雑さ、プロジェクト準備の難航などが挙げられます。関係当局は、手続きの簡素化や地方幹部の説明責任強化など、より強力な対策を講じて進捗の加速を図るとしています。インフラ投資は総需要の喚起や民間部門の信頼向上に寄与するため、計画通りの払込実行は経済成長を支える上で極めて重要とされています。

（出展：VietnamPlus）



続きを読む

8. 首相、金・不動産市場の安定化に向けて関係機関に指示

2025年8月下旬、Pham Minh Chinh首相は国内の金市場の安定化に向け、ベトナム国家銀行（SBV）および関係機関に対し、より強力な対策を講じるよう指示しました。これは、金価格が2週間で1両あたり約1,000万ベトナムドン上昇し、国際価格との差が約2,000万ベトナムドンに達するなど、価格変動が続いていたことを受けたものです。首相は、投機の抑制と取引の透明性確保の重要性を強調するとともに、不動産分野における課題についても各省に見直しを指示しました。分野には回復の兆しが見られるものの、法制度上の障壁や資金調達の制約により、依然として十分な回復には至っていないと評価されています。これらの対応は、主要市場の安定とマクロ経済への信頼維持を目指す政府の取り組みの一環と位置づけられています。

（出展：Vietnamnews）



続きを読む

9. ベトナム、投資法の簡素化で投資家コストを約30%削減へ

ベトナム財務省（MoF）は、投資法の改正案を最終調整しており、2025年10月に国会で審議される予定です。今回の改正は、手続きの簡素化と投資家のコスト削減を目的としており、次のような内容が盛り込まれています。一部の承認手続きの整理・廃止。環境、安全性、大規模な影響が見込まれるプロジェクトに限定した中央政府による承認の明確化。造林、賭博、洋上風力発電など外資参入分野における地方政府への権限移譲の強化。専門家によれば、これらの改革により、行政手続きの処理時間、コンプライアンスコスト、事業条件がそれぞれ約30%削減される可能性があり、プロジェクトの迅速な実施と投資環境の改善が期待されています。一方で、現行制度では新規民間企業に対して2年分の財務諸表の提出が求められるなど、参入障壁となっているとの批判もあり、より柔軟で事業促進に資する制度設計の必要性が指摘されています。

（出展：Vietnam Investment Review）



続きを読む

10. 既成工場がベトナムの工業用不動産市場を牽引

ベトナムの既成工場（RBF）市場は、工業成長を支える重要な原動力として注目を集めています。2025年上半期には、759件の新規製造プロジェクトのうち410件（全体の54%）が土地造成による建設ではなく、RBFの賃借を選択しました。賃借件数が土地取引を上回ったのは今回が初めてです。Cushman & Wakefieldによると、2025年第2四半期時点でRBFの総供給面積は1,100万平方メートルに達し、稼働率は85%を超えています。供給はホーチミン市、ドンナイ省、バクニン省、ハイフォン市に集中しています。専門家は、RBFの賃借によりプロジェクトの所要期間が従来の12分の1～18分の1に短縮され、初期費用も70～80%削減できると指摘しています。月額賃料は北部で1平方メートルあたり4～6米ドル、南部では5～7米ドルの範囲で推移しており、投資家にとってコスト効率の高い選択肢となっています。こうした利点により、電子機器、包装、医療機器など市場サイクルの速い産業にとって、RBFは生産規模を迅速かつ柔軟に拡大できる魅力的な手段となっています。

（出展：Vietnamnet）



続きを読む

お問い合わせ



仁科 仁

Jin Nishina

Director / CPA

T +84 906 719 178

E Nishina.jin@vn.gt.com



谷口 雅宣

Masanobu Taniguchi

Director / CPA

T +84 358 177 966

E masanobu.taniguchi@vn.gt.com